

新たな学校への歴史の継承について

1 ワークショップでの意見

【デジタル保存】

- 基本的にすべてデジタル保存でいい。
- 業者を利用して解像度等が良いものを残してほしい。
- 設置されていた場所やその背景がわかるようにしてほしい。
- 校舎図や、校舎の様子がわかる形で残してほしい。
- ホームページでの閲覧や、学校に行けば見ることができるようにしてほしい。

【卒業生へ返却】

- 卒業生みんなで作ったことや、個人を特定できるか不明確なこと、全員に返すことができないこともあり、公平性を考えると返却は難しいのでは。
- 特定ができないもの、既にもうその人がいないなどの問題はあるが、全てとはいかないが返せるものがないか考えていきたい。
- 卒業生が学校に来てもらうのもいいのでは。卒業生にも思い出していただきながら、これからの新しい学校に向けてエールを送っていただく意義はある。

【施設配置を考慮したうえで継承方法を検討】

- 記念碑、二宮金次郎像、旧門柱は、成瀬地域の学校が150年前から歩んできた長い歴史の中での財産として残したい。

【施設配置を考慮し、挿し木や新たに植樹を検討】

- 記念樹（カエデの木）は、挿し木や種を子どもたちに配るなどを検討してほしい。
- 材木としてベンチ等の何かしらの形に残してほしい。
- 新たなシンボルツリーを1期生の子どもたちが植樹するのもいいのではないかな。

【設置場所を考慮し移設を検討】

- 校歌（歌や歌詞が書かれている額等）を現物保存したい。
- 資料室にある農具や生活用具、民具、写真資料は、教材としての価値を踏まえて優先順位を決めて残したい。
- 学校以外の保存先、受入先も調べて、可能であればそこにも残したい。

【その他】

- 現物保存をする際には、劣化が進まないように配慮してほしい。

2 検討スケジュール（変更）

ワークショップでの意見を踏まえ、継承・保存方法の具体的な内容を、業者ヒアリング等を踏まえて学校及び教育委員会で検討しています。これらの内容は、12月の第三回推進協議会に提示する予定です。

年度	2023年度											
月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
協議会	●			●				●		●	●	
物品	継承・保存方法 検討、整理							検討 結果 報告	継承に向けた準備等			
活動	活動内容の継承方法を実施主体において検討											

3 新校舎に移設する物品について

新校舎へ移設したい物品のうち、設計に反映させる必要がある物品について協議します。

以下の物品について、成瀬の学校が歩んできた地域共通の歴史を伝える財産として残したいとの意見を尊重し、新校舎への移設を設計・建設において検討する。

A：百周年記念碑



B：二宮金次郎像



C：旧校舎校門石柱



(留意事項)

- 物品の状態を調査した上で、安全に設置することが難しいなどの場合は移設を行わない。
- 不測の事態により移設が困難な場合があることを踏まえ、デジタル保存を実施する。

(参考) 成瀬の学校が歩んできた地域共通の歴史

